

平成 27 年 7 月 21 日

第 59 回 長崎キワニスクラブ例会資料

(12 : 30～)

1. ゴング・・・開会
2. 国歌・キワニス讃歌斉唱
3. 福島会長挨拶
4. 会員異動ご紹介  
株式会社 テレビ長崎 田中営業部長 様→増田部長 様へ
5. オブザーバー紹介  
最高裁判所司法研修所 第 68 期 司法修習生 奈倉 梨莉子 様
6. 昼食

(13 : 05～13 : 30)

7. 卓話  
長崎女子短期大学 学長 浦川末子 様  
演題 『危機に直面する子どもたち』 P 1～6
8. 連絡事項  
○各委員会より  
○事務局より  
・6 月度マンスリーレポート P 7  
・8 月 4 日 (火) 役員会開催のお知らせ (役員のみ)  
・8 月 18 日 (火) 夜間例会のお知らせ (会費 1 万円程)
9. 閉会・点鐘

以 上

卓話 演題 「危機に直面する子どもたち」

長崎女子短期大学学長 浦川末子



## ■プロフィール

### ◆略歴

- ・県教育センター指導主事・小学校校長
- ・県生涯学習課長
- ・長崎県こども政策局長
- ・長崎女子短期大学教授を経て2014年から学長

### ◆社会活動等

- ・長崎県教育委員
- ・長崎県人権教育・啓発推進懇話会会長
- ・長崎県男女共同参画審議会会長
- ・長崎「いのちの会」顧問
- ・(NPO法人)「親子の安心と学びを支えるネットワーク」理事長

### ◆研究・執筆等

- ・「子育ての原点」を問う 2011年 研究紀要
- ・「社会教育」特集「家庭教育を支援する仕組みを如何にして形成するか」  
論文「家庭教育を支援する公的限界を乗り越えるために」2011年5月号
- ・「地域における保育者養成校の役割」2012年 研究紀要

○はじめに 問題点の抽出

第Ⅰ部 子どもに向き合うということ

第Ⅱ部 子どもの声を聴いてください

第Ⅲ部 家庭と地域の絆の回復を

○おわりに

「愛着」について

岡田尊司

人間が幸福に生きていくうえで最も大切なもの、それは安定した「愛着」である。

愛着とは、人と人との絆を結ぶ能力であり、人格の最も土台の部分形成している。

安定した愛着が形成された人は、対人関係においても、仕事においても、高い適応力を示す。人とうまくやっていくだけでなく、深い信頼関係を築き、不要な衝突や孤立を避けることができる。困ったときは助けを求め、自分の身を上手に守ることでストレスや鬱になることも少ない。人に受け入れられ、人を受け入れ成功のチャンスをつかむ。

愛着形成がうまくいかなかった場合、鬱や不安障害、各種依存症、境界線パーソナリティ障害 過食症など現代社会を特徴付ける精神的トラブルの要因になっている。また、家庭崩壊や離婚、虐待子どもを持つことを回避、社会に出ることを拒否、非行や犯罪など問題の重要なファクターとなっている。

平成27年7月21日(火) 13:05～13:30(25分)

長崎女子短期大学長 浦川末子

図1 子供の孤立（国際比較）

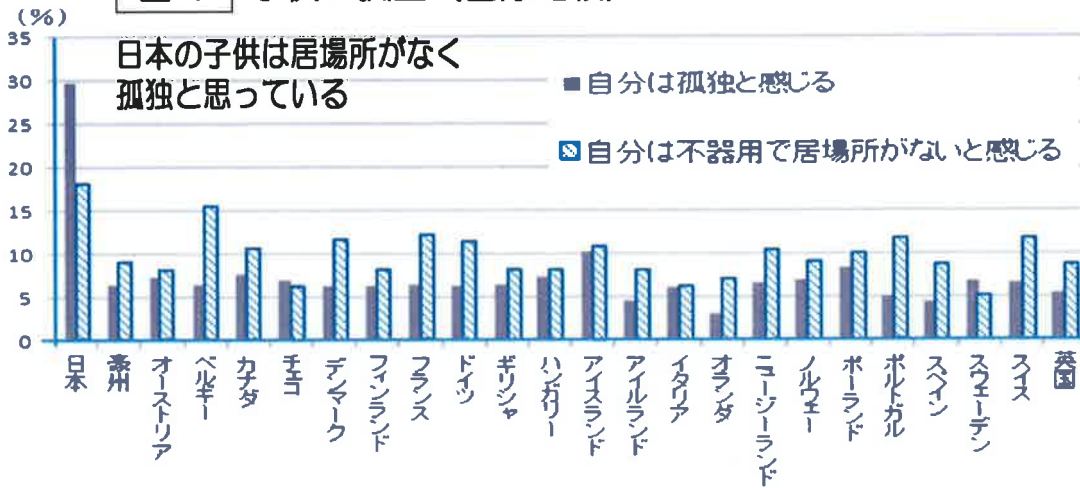
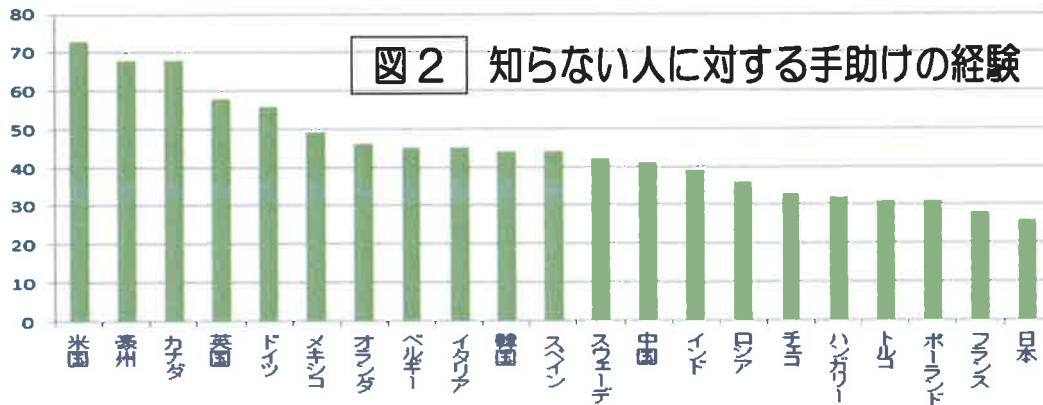


図2 知らない人に対する手助けの経験



〈備考〉「過去、助けが必要だが、知らない人がいた場合に手助けをしたか」との問いに「はい」と答えた人の割合。  
 〈出典〉ギャロップ社世界調査

自己評価（米国・中国・韓国との比較）

（日本青少年研究所高校生の未来意識調査 2002 年）

	日本	米国	中国	韓国
価値ある人間	7, 5	57, 2	42, 2	20, 2
自己肯定感	6, 2	41, 2	38, 0	18, 9
自己満足感	3, 9	41, 6	21, 9	14, 9
自分は優秀だ	4, 3	58, 3	25, 7	14, 9

(%)

重大事件実証的研究（平成13年家裁調査官研修資料をもとに筆者が整理した）

○平成9年から11年に起きた少年による重大事件15例について、少年及び少年を取り巻く環境について問題点を抽出し、各界研究者の討論によってまとめたものを表にした。

型	幼少期から問題行動を頻発していたタイプ	表面上は問題を感じさせなかったタイプ	思春期になって大きな挫折を体験したタイプ
背景	○幼児期や小学低学年から問題行動や非行を繰り返す。 生まれてから十数年間問題の改善が図られずさらに重要な要因が重なり殺人に至る。	○おとなしくて目立たず近所の人にもよく挨拶したり道のゴミを拾ったり、一見環境に適応しているように見えていたのに突然重大事件を犯す	○思春期になって親の期待に恋えられなくなるような挫折を経験し急に土台を失った不安定な心理状態になり、些細なことがきっかけでキレて衝動的な殺人となる。
家庭環境	○虐待や夫婦間暴力、育児ストレスや精神的障害を抱える傾向。少年の問題行動に対して、性格や気持ちを考えず体罰や叱責。父親の主体性が無く、影が薄いか暴力的・威圧的	○表面的な夫婦関係は維持されるが夫婦の絆が弱く、家族間で情感のこもったコミュニケーションが欠如。少年が、親の期待を先回りして子どもらしいありのままの感情を抑えてしまう	○思い入れが強く、過大評価し、プラス面しか見ようとしない。少年の挫折に、親の期待が裏切られたとし、無視したり、怒りをぶつけたりする。
少年の気質意識行動	○自己に対する否定的イメージ、親に対する潜在的憎しみを募らせ、心にため込む。愛情欲求不満の表れから盗み・万引きを繰り返す。親に叱責されても罪悪感や規範意識がなく見つからなければよいと思う。 思春期になると学校不適應になり明らかに問題児扱いされ疎外感を持つ	○他者と情緒を交流させるコミュニケーションや小学校期に体験する交友関係が欠如。思考力学力は問題ないが喜怒哀楽や表情に乏しく、受け身で自発性が無い。表面的には問題が無い子でも限られた型や解決方法しか持たないので不適應に悩む。 空想世界での万能感が膨らみ凶器の収集・攻撃的暴力的ゲーム・ビデオへのめり込む	○自我が弱く感情統制も悪い。幼児期から友人を叩くなど乱暴な傾向や決まりを守らない等の行動も存在。周囲の期待に恋えられている間は不適應は起こさないが、挫折したとき自尊心が傷つけられ自棄的になり物を壊す・暴力・凶器の保有や腹痛など身体症状も表す
犯行の態様	○長い間押さえ込まれていた怒りの感情の爆発と強い恐怖感 突然予期しない現実直面し驚愕反応や執拗な暴行を行う	○現実の卑小な自分を直視せざるを得なくなり、空想の中で育ててきた「自分の世界」が破壊されるとの危機感によるパニック	○思いがけない相手の態度に接し、覆い隠そうとしていた傷ついた自我があらわになりそうになったパニック

## 「愛情」を受けていない子は心配 ～就学前の子どもに一番大切なもの～

### 1 RAスピッツやWゴールドファーブの研究

①普通の家庭 ②栄養管理の行き届いた施設 ③非行を犯した厚生母子寮の3グループについてそれぞれ100名の子どもの発達を数年にわたって調査した。

○母子寮の子どもは、普通の子どもと同じように成長していったが、②のモデル施設の子どもは高い死亡率と低い発達指数を示した。91人のうち小学2年生までに34人が死亡。4歳までいた21名のうち発達指数は45程度。全く歩行できなかった者5名。スプーンで食事がとれない子どもが12名。排泄がうまくできない子が6名。話せる子1名。全く話せない子が6名いた。

◎ 子どもは栄養と衛生の不足によって死ぬのではない。抱きしめられるなど肌のふれあいの欠乏によって死ぬのである。子どもにとって良い母親とは栄養や衛生について知識が豊富な母親ではない。例え非行歴があっても、子どもとのつきあいにたっぷり時間をとって話を聞いてくれる母親である。

知的発達の遅れも、親子の「心の絆が引き裂かれること」で起こる。

最近、子どもを抱けない親が増え、適切に褒めたり叱ったりする親が少なくなった。また、多くの大人との関係を持てない親たちが増え、無表情や無感動或いは激しい攻撃性を持つ子どもの出現が憂慮されている。

愛情不足からくる子どもの危機が家庭内で起き始めている。

子どもにとって「親と子の心の絆」が子どもの健やかな心の成長にいかに重要か、そして、豊かな家族関係の喪失がいかに子どもに危機的状況をもたらすか。私たちは真剣に考えておきたい。

### 2 問われる家族のあり方と親の役割

①心から抱きしめてください

☆抱ぐことは母親の役目、  
父親は母親を支え・家族を守る役目

★家庭は、子どもの心の安定  
親に愛された子どもは自立する

②「教えてくれる・鍛えてくれる」

学校の先生や地域の人を信頼しましょう

☆先生が教える・親が教える・地域が教える  
☆先生が鍛える・親が鍛える・地域が鍛える

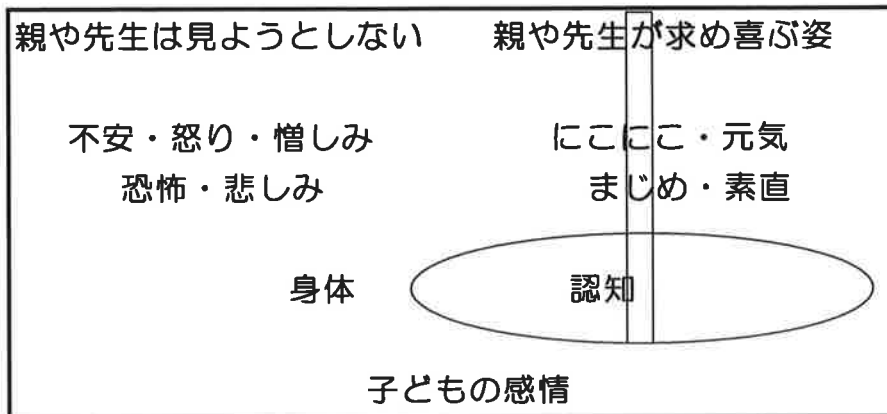
★社会正義を教える父親

ユング：密着した母子関係を断つナイフの役割が父親

## Ⅱ 子どもに「向き合う」ってどういうこと？

(2003年大河原美以氏研究紀要27集より)

### 乖離する子どもの感情のイメージ (大河原研究室)



子どもは、「不安・怒り・憎しみ・恐怖・悲しみ」等身体からあふれてくる不快な感情を、誰も受け止めてくれなかったり、「体罰や叱責」で応じたりすること等が日常化している関係であれば、自分を受け入れてもらえる「安心感情」を失ってしまい、そんな感情はなかったかのように振る舞ってしまう。不安な場面で身体が固まってしまうのは当然の反応で、その身体感覚を親に抱きしめてもらうことができれば、子どもは「安心の感情」を獲得する。不安・不快な感情を親に受け入れてもらえることで「安全・安心」の基本的な感覚を獲得していく。キレル子どもは、溢れる不快感を言葉で言えず混沌としたエネルギーのまま爆発させたものである。

怒りや悲しみは、言葉で伝えて良いことを教え、怒りや悲しみの感情が、ポジティブな感情と同等の価値で大人に受け入れられるようになれば子どもの感情は改善される。学校であった不快感に親が共感できるようになったとき、親子の関係は回復していく。このように、日常的に交わされる家族内でのコミュニケーションがいかに大切かということであり、子どもの心の安全基地をつくってやることこそが急務である。

(参考)「支援の必要性」(長崎女子短期大学福井心理学教師)

Bowlby が提唱した愛着理論において、子どもにとっての母親は『安全基地』であり、母親という安全基地があるからこそ、子どもは主体的に活動でき、また傷つけば安全基地(母親)に戻ることができる。この愛着理論を学校に当てはめると、児童にとっては教員が『安全基地』であり、基地があるからこそ、児童は安心して主体的に学び、自身の知識・技能を向上させることが可能なのである。

つまり、愛着理論においては、親に『十分に甘えることができ』、親と『信頼関係を結べた』子どもしか、主体性(自分で考え、動く力)は身に付かないのである。『誰にも甘えられず』、『誰も頼る人(大人)がいない』子どもは、非常に不安定な情緒傾向を示し、主体性が身に付くどころか他者への依存性が高まる。

思春期の生徒も同様で、教師と確固たる信頼関係を結べた生徒は、後に、良好な対人関係を築き、失敗を恐れずに動くことができる。その理由は、社会人になってからも、Piaget の言う表象レベルで親や教員に『守られている』感覚を持ち続けるため、自分で考えて動く余裕があることが挙げられる。つまり、一方的に厳しく指導することが、必ずしも学生の成長につながるわけではないということである。

### 【事例3】 いじめ側の心理

(臨床心理の立場から)

#### いじめ問題への基本姿勢

- ①「いじめられる側は悪くない」と言う姿勢を持つこと。
- ②いじめられる側を孤立化させない。
- ③いじめられる側を無力化させない。
- ④傍観者・観衆をカブけるアプローチ
- ⑤いじめ側の気持ちに焦点づけた教育と支援
- ⑥について、加害者の気持ちを考えてみよう。

加害者にとってのいじめは、自分の気持ちを発散させるためのもので口実は何でもよい。そして、いじめられる理由の正当性を周囲や本人に訴え信じ込ませ、孤立させ、無力化を図ろうとする。ここで言う無力化は、周囲の人間を観衆にし、孤立させ、さらには他者に話すことは卑怯である。」というモラルを徹底させ、家庭からも孤立させ、反撃にはさらにひどい仕打ちがあることを思い知らせていく。いじめ側は、いじめたいからいじめただけで「何でそんなことをするのか」とか「いじめは卑怯だから止めろ」という論理は通用しない。

○いじめ側の心理状態は、「優越感・征服感」を得たいという言う心理が強く働き、自分が持っている劣等感を打ち消そうとしている。「いじめを続けても、気持ちは何一つ満足できず何も変わらない。」とわかっていながら止められない。

そんな弱さを持つ人間だからこそ心理学的立場から手助けを必要としている。

- ①親からの過干渉や愛情過多
  - ②過剰な期待をかけられ過ぎている。
  - ③習い事などで多忙すぎ、自分の時間が持てない。
  - ④虐待を受けている。
- 等日々ストレスをためていることが窺える。最初はからかう程度だったのがだんだんエスカレートし、罪悪感も薄れていく。

○これは、動物行動学の「ペックナンバー」と似ている。狭い鶏小屋にたくさんの鶏を追い込むと騒動の末一定の秩序が生まれ、君臨する王様鶏とつつき回される末端鶏が形成される。末端の鶏が死んでしまうと次に弱い立場の鶏がつつかれるという悪循環が起こる。この関係は小屋から放してしまえば、消滅する。こうした現象は、子どもが競争的な環境に閉じ込められた場合に起こりうる事が考えられる。

○愛情不足即ち愛着障害でもある。心理的虐待・無視・過酷な懲罰・過干渉等の虐待である。愛情不足は他人への攻撃性として表れてくる。子どもは親のそんな養育態度に「よい子でいなければならない」と言う状況に追い込まれ、徐々に「暗い・不潔」と言った人を見ると執拗に否定する。そして受験と言うふるいにかけて自分が勝者でいられないことが確実になると敗者的要素を持っている人間を徹底して攻撃する。

- ①いじめ側の気持ちにより添う
- ②いじめ側の未消化の欲求や感情、親に対する葛藤、憤りをはき出させる
- ③いじめ側の親の対応に配慮すること

このような心理的援助により、いじめたいという気持ちの軽減を図る事が大切である。



15年6月度マンスリーレポート集計表 (会員数)

	前月		新入会員数		退会・物故		今月							2014/8/1		最盛時(9/30時点)		表彰基準			
	1,936	28	287	23	207	1,941	総数	休会員数	女性会員数(%)	学生	法人	衛星数	衛星会員	数	対比	数	年	対比	目標*	達成率	
全国計	243	2	11	1	12	244	25	19 ( 8%)	0	1	359	12	140	1837	106%	1786	2014	109%	1,946	100%	
東京	137	3	12	3	13	137	8	11 ( 8%)	0	0	0	0	12	138	99%	141	2011	97%	139	99%	
名古屋	70	3	10	5	13	68	4	4 ( 6%)	0	0	0	0	71	71	96%	176	1989	39%	72	94%	
大阪	74	2	9	2	9	74	1	6 ( 8%)	0	0	0	0	74	74	100%	119	2000	62%	75	99%	
広島	57	0	1	0	5	57	0	11 ( 19%)	0	0	0	0	61	61	93%	129	1991	44%	62	92%	
神戸	69	1	13	1	9	69	6	5 ( 7%)	0	43	1	11	65	65	106%	111	1992	62%	66	105%	
仙台	57	3	11	1	5	59	4	5 ( 8%)	0	0	0	0	53	53	111%	123	1997	48%	54	109%	
札幌	72	0	5	0	12	72	3	25 ( 35%)	0	5	1	19	79	79	91%	89	1996	81%	80	90%	
横浜	106	3	20	1	20	108	0	1 ( 1%)	0	77	0	0	108	108	100%	106	2014	102%	109	99%	
高松	81	1	14	1	16	81	4	4 ( 5%)	0	11	0	0	83	83	98%	105	1996	77%	84	96%	
福岡	28	0	4	0	5	28	1	1 ( 4%)	0	5	0	0	29	29	97%	76	1985	37%	30	93%	
京都	28	0	3	0	4	28	1	5 ( 18%)	0	10	0	0	29	29	97%	60	2006	47%	30	93%	
千葉	53	2	9	3	6	52	4	3 ( 6%)	0	0	0	0	49	49	106%	86	2000	60%	50	104%	
和歌山	22	0	0	0	0	22	0	5 ( 23%)	0	11	0	0	22	22	100%	42	1997	52%	23	96%	
新潟	34	0	3	0	8	34	1	5 ( 15%)	0	0	0	0	39	39	87%	53	2010	64%	40	85%	
泉州	86	0	20	0	1	86	7	40 ( 47%)	3	16	0	0	67	67	128%	66	2014	130%	68	126%	
埼玉	80	0	4	0	2	80	8	52 ( 65%)	3	3	0	15	78	78	103%	79	2013	101%	79	101%	
西宮	11	1	1	0	4	12	2	2 ( 17%)	0	0	0	0	15	15	80%	32	2004	38%	16	75%	
福山	159	3	29	3	20	159	4	35 ( 22%)	0	26	4	81	150	150	106%	153	2014	104%	151	105%	
熊本	43	0	9	0	9	43	0	8 ( 19%)	0	0	0	0	43	43	100%	40	2014	108%	44	98%	
静岡	61	2	5	2	4	61	0	11 ( 18%)	0	13	0	0	60	60	102%	60	2014	102%	61	100%	
金沢	28	0	8	0	6	28	0	0 ( 0%)	0	0	0	0	26	26	108%	28	2013	100%	27	104%	
松江	35	1	9	0	8	36	6	6 ( 17%)	0	20	0	0	35	35	103%	35	2012	103%	36	100%	
鹿児島	23	0	0	0	3	23	0	9 ( 39%)	0	1	2	1	26	26	88%	27	2013	85%	27	85%	
芦屋	33	0	4	0	2	33	1	6 ( 18%)	0	29	0	0	31	31	106%	31	2014	106%	32	103%	
福島	54	0	1	0	3	54	0	0 ( 0%)	0	0	0	0	54	54	100%	54	2014	100%	55	98%	
大分	27	0	1	0	3	27	0	0 ( 0%)	0	0	0	0	29	29	93%	30	2011	90%	30	90%	
千代田	35	1	8	0	5	36	0	6 ( 17%)	0	26	0	0	33	33	109%	33	2014	109%	34	106%	
長崎	32	0	8	0	0	32	0	10 ( 31%)	0	22	1	1	24	24	133%	24	2014	133%	25	128%	
宮崎	21	0	0	0	21	21	0	0 ( 0%)	0	0	0	0	21	21	100%	21	2014	100%	22	95%	
佐賀	16	0	16	0	0	16	0	0 ( 0%)	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16	100%	
秋田	37	0	40	0	3	37	0	2 ( 5%)	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	38	97%	
大垣	24	0	0	0	24	24	0	0 ( 0%)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	25	96%	
福井																					

(現時点で未報告のクラブ(大分・佐賀)は、前回報告数を記載。)

\*会員数の表彰基準:  
 ☆会員を純増させる  
 ( ) は、達成済みのクラブ)

# 祝・世界文化遺産登録!

## 「明治日本の産業革命遺産」

この夏

# れきぶん

長崎歴史文化博物館

各国の世界遺産を「レゴ®ブロック」で再現する話題の展覧会が長崎に!



明治日本の産業革命遺産 (作品: 端島炭坑 / 軍艦島)

長崎の教会群とキリスト教関連遺産 (作品: 大浦天主堂)

## 軍艦島・大浦天主堂モデルも登場!!

世界遺産チャリティーアートエキジビション

# PIECE OF PEACE

世界遺産  
条約採択  
40周年記念

### WORLD HERITAGE EXHIBIT BUILT WITH LEGO BRICK

『レゴ®ブロック』で作った世界遺産展 PART-3

# 2015.7.18 - 8.31

NAGASAKI | 長崎歴史文化博物館  
(3F 企画展示室)

10:00 ~ 19:00 (入場は18:30まで)  
会期中休館日なし  
当日券入場料 / 大人700円 (高校生以上)  
小・中学生 500円  
小学生未満無料

\*入場料とグッズ売り上げの一部は、日本ユネスコ協会連盟が行う世界遺産活動へ寄付されます。

お得な前売券はお近くのプレイガイドで!  
料金: 大人(高校生以上) 600円 (当日 700円)  
小中学生 400円 (当日 500円) 未就学児無料



LEGO, the LEGO logo and Minifigure are trademarks of the LEGO Group. © 2015 The LEGO Group.

長崎歴史文化博物館

TEL.095-818-8366  
www.nmhc.jp

テレビ長崎

10th 長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture